

第 25 標識

1 標識又は表示の方法

(1) 次に掲げる規則等により規定される消防用設備等の標識又は表示の方法は、別表第 1 のとおりとする。㊦ i

ア 屋内消火栓設備

- (ア) 開閉弁、止水弁の表示
- (イ) 逆止弁の表示

イ スプリンクラー設備

- (ア) 末端試験弁の標識
- (イ) 補助散水栓箱の表示

ウ 水噴霧消火設備等

- (ア) 移動式消火設備箱の表示
- (イ) 貯蔵容器の表示
- (ウ) 起動装置の表示

エ 自動火災報知設備

警戒区域一覧図

オ 非常警報設備

通話装置

カ 避難器具

- (ア) 避難器具設置の表示
- (イ) 特定 1 階段等防火対象物における避難器具がある階の階段室等の避難器具設置場所の標識

キ 連結散水設備

系統図

ク 無線通信補助設備

保護箱の表示

(2) 次に掲げる消防用設備等の標識又は表示の方法は、別表第 2 のとおりとする。

㊦ ii

ア 屋内消火栓設備

- (ア) 消火ポンプ室の標識
- (イ) テスト弁の標識

イ スプリンクラー設備

- (ア) 手動起動装置の標識（ドレンチャー設備）
- (イ) 送水口付近の排水弁の標識

ウ 水噴霧消火設備等

- (ア) 貯蔵容器設置場所の表示
- (イ) 自動復旧装置の標識

エ 自動火災報知設備

受信機設置室の標識

オ ガス漏れ火災警報設備

ガス漏れ表示灯の表示

カ 火災通報装置

火災通報装置が接続されている旨の表示

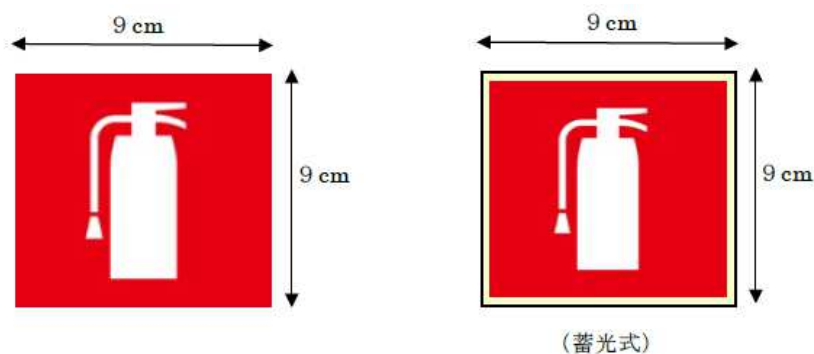
キ 非常警報設備

- (ア) 非常電話収納箱の表示

- (イ) テレビスタジオ等の部分に設ける確認灯
- ク 避難器具
 - (ア) 仕切り板等の表示
- (イ) 階下降下位置の表示
- ケ 消防用水
 - (ア) 吸水管投入孔の標識
 - (イ) 採水口の標識
- コ 連結散水設備
 - 排水弁の標識
- サ 連結送水管
 - (ア) 排水弁の標識
 - (イ) ブースターポンプ室の標識
 - (ウ) ブースター運転時設計送水圧力の表示
 - (エ) ブースターポンプ一次側の止水弁の表示

2 その他

- (1) 標識及び表示の文字は鮮明度をそこなわない範囲で、当該標識及び表示の大きさに応じたものとする。☞ i
- (2) 制御弁等をパイプシャフト内等に設ける場合の標識等の設置場所は当該パイプシャフトの扉に設置すること。
なお、複数の弁類等を同一場所に設ける場合は、各弁等にも標識等を設けること。
- (3) 標識等の設置場所が火災の影響を受ける恐れがない場合は、当該標識等の材料は各別表の備考に規定されたもの以外のものを用いることができるものとする。ただし、当該備考に規定されたものと同様以上の耐久性及び耐候性等を有するものであること。
- (4) 消火器を直接視認することができる状態で設置した場合にあっては、令第 32 条の規定を適用し、JIS Z 8210 に定める消火器のピクトグラム（下図参照）を設けることができるものとする。

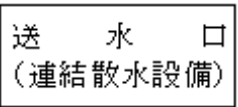
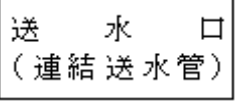
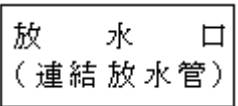
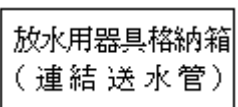
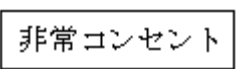
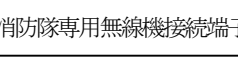


別表第1 規則等に基づくもの

種 別			区 分	表示区分	色		大きさ (cm)		設置場所
					地	文字	長辺	短辺	
消 火 器 具 屋 内 消 火 栓 設 備 ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	消 火 器 具	消火器	消火器	消 火 器	赤	白	24	8	当該消火器具のある場所の見やすい位置
		簡易消火用具	水バケツ	消 火 バ ケ ヅ	赤	白	24	8	
			水槽	消 火 水 槽	赤	白	24	8	
			乾燥砂	消 火 砂	赤	白	24	8	
			膨張ひる石膨張真珠岩	消 火 ひ る 石	赤	白	24	8	
	屋内消火栓設備	消火栓箱	消 火 栓	赤	白	30	10	屋内消火栓箱の表面	
		非常電源用開閉器	屋内消火栓設備用	白	赤	文字の鮮明度をそこなわない範囲で自由		当該開閉器の直近の見やすい位置	
		開閉弁、止水弁	開閉方向	文字の鮮明度をそこなわない範囲で自由 または、弁についている表示でも可 (S→ O→または開→閉→等)			当該弁の直近の見やすい位置		
		逆止弁	流れの方向	文字の鮮明度をそこなわない範囲で自由			当該逆止弁の直近の見やすい位置		
	スプリンクラー設備	制御弁	制 御 弁 (スプリンクラー)	赤	白	30	10	当該設備の直近の見やすい位置	
		送水口	送 水 口 (スプリンクラー)	赤	白	30	10		
		末端試験弁	末端試験弁	赤	白	30	10	当該試験弁の直近の見やすい位置	
		補助散水栓箱	消火用散水栓	赤	白	30	10	補助散水栓箱の表面	

	水噴霧消火設備等 (水噴霧消火設備、 泡消火設備、不活 性ガス消火設備及 びハロゲン化物消 火設備、粉末消火 設備)	手動式起動 装置	手動起動装置 () ()内には当該設備の 種別を表示すること。	赤	白	30	10	当該設備の直近 の見やすい位 置
		ホース接続口	ホース接続口 () ()内には当該設備の 種別を表示すること。	赤	白	30	10	
		移動式消火設 備箱	移動式〇〇消火設備 〇〇には当該設備の 種別を表示すること。	赤	白	30	10	当該消火設備箱 の表面
		貯蔵容器	充てん消火剤量、消火 剤の種類、製造年及び 製造者名を表示するこ と。ただし、CO ₂ の場合 は消火剤の種類は不 要。	文字の鮮明度をそこな わない範囲で自由				当該貯蔵容器の 見やすい箇所
		起動装置名 称、取扱い方 法等	防護区画の名称、取扱 い方法、保安上の注意 事項等を表示するこ と。	文字の鮮明度をそこな わない範囲で自由				起動装置の直近 の見やすい位 置
	屋外消火栓設備	消火栓箱	ホース格納箱 (屋外消火栓)	赤	白	30	10	当該設備の直近 の見やすい位 置
		消火栓	消 火 栓	赤	白	30	10	
警 報 設 備	自動火災報知設備	常用電源用 開閉器	自動火災報知設 備用	白	赤	文字の鮮 明度をそこ なわない 範囲で自 由		当該設備の直近 の見やすい位 置
		警戒区域 一覧図	警戒区域を明確に表示 すること。	文字の鮮明度をそこな わない範囲で自由				受信機の付近 の見やすい位 置
	消防機関に通報す る火災報知設備	発信機用押 ボタン	火 災 報 知 器	赤	白	24	8	発信機の上方で 見やすい位置

	非常警報設備	通話装置	通話装置	赤	白	文字の鮮明度をそこなわない範囲で自由		通話装置の本体正面又は収納箱の付近の見やすい位置
		通話装置に非常電話の認定品を使用した場合	通話装置 又は 非常電話 ※認定品については、製品に表示されたものでも可	赤	白	文字の鮮明度をそこなわない範囲で自由		通話装置の本体正面又は収納箱の付近の見やすい位置
避難設備	避難器具	避難器具	避難 ○○○○ ○○には器具の名称を表示のこと。	白	黒	36	12	当該設備を設置した室の入口又は格納する場所の付近
		使用方法	器具名 使用方法 当該避難器具の使用方法を簡記すること。	白	黒	60	30	当該設備の直近の見やすい位置
		設置等場所に至る廊下、通路又は室の出入口等	器具名 → 避難ロープ、避難はしご等一般に普及している用語については、当該器具名をもつてかえることができる。器具名の下に矢印を表示のこと。 避難器具設置	白	黒	36	12	設置場所に至る廊下、通路又は室の入口等の見やすい位置
		避難器具設置位置までの誘導する標識	(平面図) ● 当該階の平面図を簡記し、避難器具設置等場所を赤色の●印表示し避難器具名を明記すること。	白	黒 黒線	日本産業規格A4以上		当該避難器具のある階のEVホール及び階段室等の入口付近の見やすい位置(特定1階段) ※

消防活動上必要な施設	連結散水設備	送水口		赤	白	30	10	当該設備の直近の見やすい位置
		送水区域、選択弁、送水口系統図	(平面図) 送水区域、選択弁、送水口の位置を表示すること。 ※選択弁を設ける場合は送水区域、選択弁を色分けすること。	白	黒	日本産業規格B4以上		当該送水口の直近の見やすい位置
	連結送水管	送水口		赤	白	30	10	当該設備の直近の見やすい位置
		放水口		赤	白	30	10	
		放水用器具格納箱		赤	白	30	10	格納箱の表面の見やすい位置
	非常コンセント設備	保護箱		赤	白	25	10	保護箱の表面又は直近
	無線通信補助設備	保護箱		赤	白	文字の鮮明度をそこなわない範囲で自由		保護箱の表面又は直近

備考

- 1 標示場所の状況等により、大きさをこの表に掲げる数値以上とする場合又は縦書とする場合には、長辺と短辺の比率をこの表の比率とすること。
- 2 「消火器」の標識には、必要に応じ普通火災用、油火災用、電気火災用等その適応性を付記してもさしつかえない。
- 3 屋内消火栓設備以外の消防用設備等の開閉弁、止水弁、逆止弁及び非常電源開閉器については、屋内消火栓設備に準ずること。
- 4 標識の材料は、木板、金属板又は難燃合成樹脂板とすること。
 ※ エレベーターホール等に設ける避難器具設置位置まで誘導する平面図については、その材料を問わないが、破損や汚損がないような方法で表示すること。
- 5 設置位置を表示する標識及び設置等位置まで誘導する標識については、避難器具の設置場所が容易にわかる場合にあっては、設置しないことができる。

別表第2 指導基準によるもの

区 分 種 別			表示区分	色		大きさ(cm)		設置場所
				地	文字	長辺	短辺	
消 火 設 備	屋内消火栓 設備	消火ポンプ 室	消火ポンプ室	赤	白	30	10	当該室の 入口のみ やすい位 置
		テスト弁	テスト弁	赤	白	30	10	当該テスト 弁の直近 のみやす い位置
	スプリンクラー 設備	手動起動装 置:(ドレンチ ャー設備)	手動起動装置 (ドレンチャー設備)	赤	白	30	10	当該起動 装置の直 近のみや すい位置
		送水口付近 の排水弁	排水弁 弁類に「一次側」「二次 側」及び「常閉」の表示 をすること。	赤	白	文字の鮮明 度をそこな わない範囲 で自由		当該排水 弁の直近 の見やす い位置
	水噴霧消火設 備等(粉末消火 設備、不活性ガ ス消火設備及び ハロゲン化物消 火設備)	貯蔵容器設 置場所	貯蔵容器設置場所 (〇〇消火設備) 〇〇には当該設備の 種別を記入すること。	白	黒	30	10	当該貯蔵 容器設置 場所の入 口のみや すい位置
		自動復旧 装置	自動復旧装置	赤	白	15	5	当該復旧 装置の直 近の見や すい位置
警 報 設 備	自動火災報知 設備	受信機設置 室	受信機設置室	赤	白	30	10	当該室の 入口の見 やすい位 置
	ガス漏れ火災 警報設備	ガス漏れ表 示灯	ガス漏れ表示灯	文字の鮮明度をそこなわない範囲で自由				ガス漏れ表 示灯の直 近の見や すい箇所

	非常警報設備	起動装置としての非常電話機(子機)	非常電話	赤	白	30	10	当該非常電話機収納箱の付近の見やすい位置
		テレビスタジオ等の部分で感知器と連動しない部分	非常放送中	赤	白	30	10	当該各居室の部分から識別できる確認灯とする
避難設備	避難器具	仕切り板等	避難経路である旨の表示					文字の大きさは概ね5cm以上とすること。
			「非常口」「非常出口」又は「この先避難器具あり」 「避難の際は、ここを破って避難ができます。」 「避難の際は、ここを破って隣戸に避難して下さい。」					
			付近に物品を置くことを禁ずる旨の表示					
			「この付近に物を置かないで下さい。」 「避難経路につき物品存置厳禁」					
		階下降下位置		塗料等で避難空地を表示すること。				当該避難器具の降下位置
消防用水		吸水管投入孔	図1参照	青	白	枠	縁	吸水管投入孔直近の見やすい位置
		採水口	採水口 (消防用水)	赤	白	30	10	
消火活動上必要な施設	連結散水設備	排水弁	排水弁	赤	白	30	10	当該排水弁の直近の見やすい位置
	連結送水管	排水弁	排水弁	赤	白	30	10	当該排水弁の直近の見やすい位置
		ブースターポンプ室	ブースターポンプ室	赤	白	30	10	当該室の入口の見やすい位置

		ブースター運 転時設計送 水圧力	ブースター運転時 送水圧力〇〇Mpa	赤	白	20	7	送水口の直 近の見やす い位置
		ブースターポ ンプ側 の止水弁	連結送水管用止水弁	文字の鮮明度をそこなわない範 囲で自由				当該止水弁 の直近の見 やすい位置

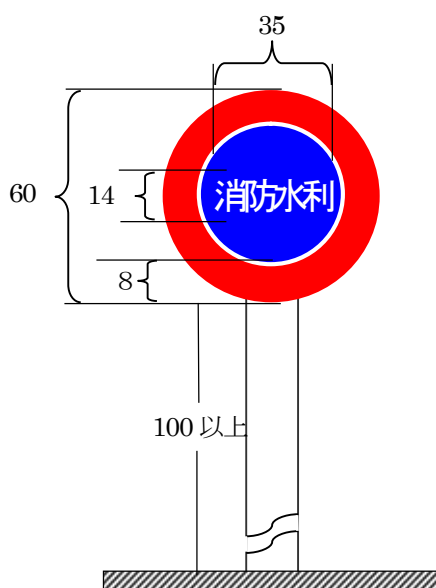


図1

- 1 色彩は、文字及び縁を白色、枠を赤色、地を青色とし、原則として反射塗料を用いるものとする。
- 2 標示板を図示の取り付け方によって取付けることが著しく困難又は不適當であるときは、他の方法によることができる。

備考

- 1 標示場所の状況等により、大きさをこの表に掲げる数値以上とする場合又は縦書とする場合には、長辺と短辺の比率をこの表の比率とすること。
- 2 屋内消火栓設備以外の消火ポンプ室、テスト弁及びスプリンクラー設備以外の排水弁の標識等については、屋内消火栓設備及びスプリンクラー設備に準ずること。
- 3 標識の材料は、木板、金属板又は難燃合成樹脂板とすること。